

第二次長野市環境基本計画後期計画 令和3年度の取組結果表

基本目標	コード	指標名	担当課等	計画目標値 (R3年度)	R1年度			R2年度			R3年度			是正計画 (R3.5作成)		監視項目 (155項目) 中の遅れ気味・遅延の施策	
					目標値	実績	目標達成	目標値	実績	目標達成	目標値	実績	目標達成	原因	是正計画		
① 循環型社会の実現	11	ごみの総排出量(t)	生活環境課	124,724t	125,811	125,744	○	125,744	122,241	○	122,241	120,584	○			全35項目 (遅延 3項目)	
	12	市民の一人1日当たりのごみ排出量 (g/人・日)	生活環境課	411g/人・日	418	418	○	415	433	×	411	427	×	新型コロナウイルスの巣ごもり需要によりごみ排出量が増加した。	家庭ごみの減量及び分別の徹底を指導啓発し、再資源化を推進する。市民に対して、ごみ出し方のルールの徹底を図るため、全戸配布している「ごみ収集カレンダー」のほか、「資源物と出し方保存版」など冊子、「サンデーサイクル案内」、「えこねこ通信」などのチラシの配布や市の広報、ラジオ、ホームページ、各種イベント等を通じて啓発を進める。住民自治協議会環境美化の役員に対しては、「環境活動のてびき」を配布し、分別強調月間として分別指導を行い啓発に努める。また、レジ袋削減の取り組みや食品ロス削減の取り組み、フードバンク活動への協力、生ごみ処理実践講座、出前講座などを通じて啓発活動を行う。	ごみ処理施設の整備 ごみ焼却施設建設及び周辺環境整備建設に向けた地元同意のための説明会の開催 →ごみ焼却施設建設は、H30年度で終了 周辺環境整備建設(公園)は、敷地内の一部に埋設廃棄物が確認され、地元と協議中	他2件 (遅れ気味 6項目)
	13	事業系ごみ年間排出量(t)	生活環境課	39,757t	39,115	40,436	×	39,757	35,618	○	39,757	36,296	○			・食品ロス削減に取り組む活動への支援 ① 30・10運動の街頭キャンペーン実施回数 ② 家庭ごみの可燃ごみに占める食品ロスの割合 →新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、30・10運動啓発を控え、家庭での食品ロス削減街頭啓発を実施した。	
	14	マイバック持参率(%)	環境保全温暖化対策課 生活環境課	80.0%	70.0	65.4	×	75.0	89.8	○	89.8	未実施	×	新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した結果、当該調査を実施できなかった。	新型コロナウイルス感染拡大の中でも実施可能な方法を模索する。	他4件	
② 良好な生活環境の保全	21	大気環境基準達成項目数(項目)	環境保全温暖化対策課	15項目	15	15	○	15	15	○	15	15	○			全16項目(遅れ気味1項目)	
	22	市内中小河川13河川のBOD平均率 (mg/ℓ以下)	環境保全温暖化対策課	2.0mg/ℓ以下	2.0	1.0	○	2.0	1.6	○	2.0	1.2	○			・まちの美化の推進 ポイ捨て吸殻本数 (月平均本数:長野大通り10か所) →夜間パトロール等の街頭啓発等を行ったが、健康増進法の改正による灰皿の撤去、新型コロナウイルス感染症による、ごみゼロ運動中止の影響により、ポイ捨てが増加となり目標達成には至らなかった。	
	23	地区環境美化活動のごみ回収量(kg)	環境保全温暖化対策課	21,500kg	21,500	16,263	○	21,500	13,750	○	21,500	10,886	○	新型コロナウイルス感染症のため、春の清掃を見合わせた地区が多く、加えて秋のごみゼロ運動中止、また実施したが報告しない地区もあったため、統計で使用できる値ではない。			
	24	ポイ捨て吸殻本数 (月平均本数:長野大通り10か所) (本)	環境保全温暖化対策課	70本	70	116	×	70	122	×	70	117	×	巡回指導員による夜間パトロールによる啓発活動を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響によるコンビニの灰皿撤去等によって、ポイ捨てをする者が増加し、目標達成までには至らなかった。	引続きポイ捨て、歩行喫煙者に対し直接注意・指導を行うなど、粘り強い周知啓発活動を行い、ポイ捨てや歩行喫煙をしづらい市域全体の雰囲気づくりを目指す。また、公共喫煙所を設置し、喫煙所へ誘導を行うことで、目標達成を図る。		
③ 豊かな自然環境の保全	31	豊かな自然環境が保たれている(%)	環境保全温暖化対策課	73.6%以上	73.6	69.0	×	73.6	72.5	×	73.6	70.4	×	新型コロナウイルス感染症の影響により特定外来生物駆除活動等を実施できず目標達成には至らなかった。	生物多様性、希少種保護等に関する情報をホームページ等に掲載し、市民に周知していく。	全23項目 (遅延 4項目)	
	32	間伐面積(累積面積) (ha)	森林整備課	9,500ha	7,971	7,842	×	8,092	8,020	×	8,220	8,121	×	新型コロナウイルス感染症の影響により4月～8月にかけて丸太の受け入れ制限が行われ事業量が減少した。	新型コロナウイルスの影響は続いており、国・県の補助事業の活用を推進するほか、令和2年度から始まった森林環境譲与税を活用した長野市独自の補助事業(森づくり・活用事業)を活用し間伐事業を推進していく。	→新型コロナウイルス感染症の影響により軒並み事業中止となっている。 ・森林の計画的な保全・整備・活用の推進 間伐面積 (ha) →新型コロナウイルス感染症の影響により事業量が減少している。	
	33	森林体験参加者数(年間人数) (人)	森林整備課	2,150人	2,150	2,282	○	2,150	1,386	×	2,150	632	×	新型コロナウイルス感染症の影響により軒並み事業中止となり、参加者数が減少した。	新型コロナウイルスの影響は続いており、事業を中止せざる状況もあるが、実施する場合は事業主体と共に感染症対策を十分に取って開催していく。	・里山の保全と利用の推進 森林体験参加者数(人) ・森林体験の促進 森林体験参加者数(人) →新型コロナウイルス感染症対策により、軒並み事業中止となっている。	
	34	エコファーマーの認定者数(人)	農業政策課	1,089人	500	215	×	220	122	×	200	84	×	認定期間切れの対象者が多く、また、再認証する者が少なかったため。	農業青年協議会の勉強会等で、引き続き認定制度の周知を図るとともに、農業研修センターにおいて肥料や農薬の低減など環境にやさしい農業講座を実施し、農業者の自主性も尊重しながら認定者数の増加を図っていく。	(遅れ気味3項目) ・環境にやさしい農業の促進 取り組み農家数(人) →6月3組織(10人) 認定	

基本目標	コード	指標名	担当課等	計画目標値(R3年度)	R1年度			R2年度			R3年度			是正計画(R3.5作成)		監視項目(155項目)中の遅れ気味・遅延の施策	
					目標値	実績	目標達成	目標値	実績	目標達成	目標値	実績	目標達成	原因	是正計画		
④豊かで快適な環境の創造	41	市民一人当たりの都市公園面積(都市計画区域内)(㎡)	↗	公園緑地課	9.19㎡	7.75	7.75	○	7.82	7.82	○	7.87	7.86	○	新規開設に向け予定した事業は年度内に完了し、新年度に供用開始できる状況で、実質的に目標は達成している。		全24項目(遅れ気味 なし)
	42	市内中小河川9河川の水質階級(点)	↘	環境保全温暖化対策課	11点以下	11	10	○	11	10	○	11	11	○			
	43	景観やまちなみが美しい地域である(%)	↗	都市政策課	62.2%以上	60.2	56.6	×	61.2	60.5	×	62.2	59.6	×	景観賞・ながの百景の景観啓発活動、市民団体による景観向上やまちなみ保全の活動は各地で行われているが、全体的な関心の高まりが不足している。	景観賞の募集や、景観賞・ながの百景の景観啓発活動として、パネル展示、SNSの活用、パンフレット配布等を拡充するほか、更なる市民団体による景観向上やまちなみ保全の活動を支援していく。	
⑤低炭素社会の実現	51	温室効果ガス年間排出量(t-CO2)	↘	環境保全温暖化対策課	1,878,400 t-CO2	*1,959,300 (H28)	2,205,391 (H28)	×	*1,943,100 (H29)	2,217,441 (H29)	×	*1,926,900 (H30)	2,038,780 (H30)	×	電力等の消費エネルギーは前年度に比べ減少したものの、電力の排出係数(電力1kWhあたりどれだけのCO2を排出しているかを示す)が依然、基準年(H17)と同様に高く、目標に至らなかった。	特に温室効果ガス排出量の占める割合が高い事業所・家庭に向けた省エネ行動につながる啓発を継続して進めるとともに、再エネ・省エネの支援策を構築し、温室効果ガス排出量の削減を図る。また、事業所向け温暖化対策支援サイト、小・中学生に配布する環境情報紙などを通じて、低炭素行動を促すための情報発信を行う。	全40項目 (遅延 2項目) ・森林の計画的な保全・整備・活用の推進 ・森林体験の促進 ※再掲
	52	市民一人1日当たりの温室効果ガス排出量(kg-CO2)	↘	環境保全温暖化対策課	14.08 kg-CO2	*14.34 (H28)	16.01 (H28)	×	*14.29 (H29)	16.22 (H29)	×	*14.24 (H30)	15.00 (H30)	×	電力等の消費エネルギーは前年度に比べ減少したものの、電力の排出係数(電力1kWhあたりどれだけのCO2を排出しているかを示す)が依然、基準年(H17)と同様に高く、目標に至らなかった。	「指標・目標コード51 温室効果ガス年間排出量」を人口及び日数で割った数値であるため、家庭のみならず、事業所に向けた低炭素行動を促すための啓発を継続しながら、再エネの活用や省エネを推進するための新たな支援策を構築し、温室効果ガス排出量の削減を図る。	(遅れ気味 6項目) ・公共施設の省エネルギー化の推進 エネルギー使用量削減(前年度同量以下) →新型コロナウイルス感染症の対策を継続したまま、施設の利用制限等が緩和したことより前年度より増加した
	53	太陽光発電設備規模(累計)(kW)	↗	環境保全温暖化対策課	160,000kW	*130,000 (H30)	138,695 (H30)	○	*140,000 (R1)	145,316 (R1)	○	*150,000 (R2)	152,871 (R2)	○	FIT情報の公開時期により、R3年度実績は年度内集計となる。		・家庭での省エネルギー行動の啓発推進 ・事業者の省エネルギー活動の啓発推進 ・省エネ住宅・省エネビルの普及促進 ・省エネルギーに向けた全庁的な取組の促進 ・再生可能エネルギーの普及啓発の推進 センター主催の市民向け学習会、講習会等の開催数 →新型コロナウイルス感染症等の影響により、いくつかの講習会や学習会が中止になったため、開催回数が減少している。
	54	木質バイオマス燃料需要量の推計値(t)	↗	環境保全温暖化対策課	330,000t	280,040	278,424	×	304,212	254,305	×	275,175	237,993	×	ペレットストーブの新規導入が進んでいないこと。また、新型コロナウイルス感染症の影響等によって、薪の販売量が減少したため、目標値未達となった。	市内で新たにペレット製造を検討している事業者が出てきており、R4年度中には事業化計画・検討を進め、ペレットの普及促進を図り、市内の木質バイオマス燃料需要量増を目指す。(長野市バイオマス産業都市構想内、事業化プロジェクトとして推進) 薪については、販売者及び需要者の状況等を見ながら、推進を図っていく方法を検討する。	
55	再生可能エネルギーによる電力自給率(発電設備容量)(%)	↗	環境保全温暖化対策課	60.0%	*51 (H30)	51.8 (H30)	○	*54 (R1)	54.7 (R1)	○	*57.0 (R2)	56.4 (R2)	×	電力自給率は年々上昇しているものの、発電施設の増加が見込める太陽光において、増加率が例年に比べ低下したため、目標に至らなかった。	家庭や事業者へ太陽光発電設備の設置など普及展開しやすい情報提供や支援策を継続して進めるとともに、公共施設においてもPPA事業等計画的な導入を図り、再生可能エネルギーによる電力自給率の向上を図る。		
行政の市民・事業者と人づくりの推進	61	環境保全活動参加者数(人)	↗	環境保全温暖化対策課	4,700人	4,842	4,588	×	4,700	1,814	×	4,700	1,805	×	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等の中止が相次ぎ目標達成には至らなかった。	環境保全活動を推進するため、新型コロナウイルス感染拡大の防止対策をしながら引き続きイベントの開催や各プロジェクトの活動を実施するよう努める。	全17項目(遅延 3項目) ・学校教育等における環境教育・環境学習の推進(3件) →新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて、開催しないこととした。
	62	環境学習会年間参加者数(人)	↗	環境保全温暖化対策課 家庭・地域学びの課	5,200人	5,200	6,995	○	5,200	2,683	×	5,200	3,124	×	新型コロナウイルス感染防止対策により、募集人数の制限や三密を避けるなど対策の徹底を図りながら実施した。対策をとりながら実施したが、学習会の中止などがあったため、目標値を達成することができなかった。	引き続き、感染症対策を徹底しながら、環境に対する意識の向上を図るため学習会などを計画していく。	(遅れ気味4項目) ・NPO、事業者などへの支援及び協働体制の整備 ・企業の環境保全活動への支援 ながの環境パートナーシップ会議の会員数 →会費未納会員への対応を行ったため減となった 他2件

* 当該年度に報告できる実績に対する目標値

* 矢印については、計画策定時(H27)における現状値から計画目標値に向けた時の
上昇(↗)、下降(↘)、維持(→)を表すもの

22指標中
達成 11指標
未達成 11指標

22指標中
達成 10指標
未達成 12指標

22指標中
達成 8指標
未達成 14指標

155項目中(内 再掲18項目)
順調・概ね順調: 123項目(内 再掲16項目)
遅れ気味 : 20項目
遅延 : 12項目(内 再掲2項目)